

1 委員とのやりとり記録 (2001.3.29 17:00現在)

・ 2 / 1 以降の委員との主なやりとりについて日にち順で記述している。

委員名	内容
1 原田泰志(淀川)	<p>(2001/2/5 原田委員 庶務)</p> <p>1: 今回の委員会は2-30年の間の計画を考えるのだということですが、2-30年というのは、長いようで短い可能性もあります。すなわち、どれくらいのことならできそうな期間なのか、にわかには想像が付きません。おそらく、長そうであるが、短いというのが実際のところだと思います。そこで、この2-30年という期間がどれくらいのものであるのかを認識するための参考に、1970年以降の30年間で淀川について行われたこと、起こったことをまとめた資料があるとよいように思いました。</p> <p>2: この委員会が策定する「計画」のもとになるとされている「基本方針」はすでに出ているのでしょうか。これは、以前に依頼のためにみえたときに説明があったかもしれませんが、失念しております。お手数ですが、お教えてください。</p> <p>3: 資料ですが、前もって送付されたものと同じものが会場で配布されるのはいかにも無駄です。ご一考いただければと思います。</p> <p>(2001/2/16 庶務 原田委員)</p> <p>1: については、河川管理者側に委員からの要望として、他の委員からの意見、要望 とあわせて伝える予定にしています。たぶん、第2回の会議や部会で資料として提出されると思います(会議の1週間前にはお送りできることになるとと思います)</p> <p>2: については、基本方針は出ていません。本来は、先に基本方針があり、これをふまえて、「計画」が作られるものと考えられますが、河川管理者は運用上、両方を同時並行でつくろうと考えているようです。ただし、これについては、庶務の方にも、どのような連携関係で、作成していくのか、説明を受けておりません。この点についても、河川管理者に委員意見として伝える予定です。</p> <p>3: については、ご意見のとおり、もったいないと思っています。今回は、河川管理者側が作業時間を十分に確保できなかったようで、直前まで、正式な資料内容が確定しなかったことにより、暫定的なものを事前にお送りし、当日は正式なものを配ったという経緯がありました。今後はできるだけそのようなことにならないように、河川管理者側にも協力を要請していますし、庶務側の作成する資料もそのようにしたいと思っています。</p> <p>(2001/2/16 原田委員 庶務)</p> <p>丁寧な対応ありがとうございました。</p> <p>2については、そんなことでいいのかという気もしますが、こちらの意見が基本方針にも反映されるものとの期待を持っておきます。また、これらに関連して、前もって意見を述べさせていただくかもしれません。人数の多い会議ですので、前もっての意見収集は議論の効率化のため非常に重要と思っています。</p> <p>(2001/2/16 原田委員 庶務)</p> <p>何度もすみません。</p> <p>先程以下のようにかきました。</p> <p>>人数の多い会議ですので、前もっての意見収集は議論の効率化のため非常に重要と思っ>ています。</p> <p>この点に関連して、一つの可能性として提案しておいたほうがよいと思いますので、ファックスでいただいたなかでの、「提案」として、述べさせていただきます。</p> <p>構成員の多い会議であるので、短い会議の時間内に全員の意見を収集し議論に至るのには無理があります。そのため、議論の材料(河川管理者側の資料)を前もって送付し、それについての意見を電子メール等で収集し、それを事務局が整理して、それを資料として当日配布・紹介したうえで、再度意見をもとめ、議論に至るとというのが、効率化のためには効果的と考えます。資料の準備の時間が短くなる、事務局(やおそらく座長)の労が多くなるなどのデメリットはあるが、メリットも多いとおもっているので、問題が多くなければ、一つの可能性として、ご検討いただければと希望します。</p>

	委員名	内容
		<p>(2001.2.19 庶務 原田委員)</p> <p>>2については、そんなことでいいのかという気もしますが、こちらの意見が基本方針>にも反映されるものとの期待を持っておきます。</p> <p>>また、これらに関連して、前もって意見を述べさせていただくかもしれません。</p> <p>上記について、 審議の対象となる「河川整備計画の原案」は、あくまでも河川管理者側が作成するものですが、「基本方針」も含めて、未だ、作成していないとのことです。</p> <p>漏れ聞くところによると、整備計画原案の方は、河川管理者側が、別途、原案をつくるための委員会を各事務所等に設置し、検討しているようなのですが、全体としてまとめることができなくて、全体委員会の意見を聞きながら作成していこうとしているようです。</p> <p>また、委員会の意見が「基本方針」にも反映される可能性はあると思いますが、その手順等は河川管理者側の方で検討中ですので、庶務としては確定的なことが言えない状況です。</p>
2	中村 正久 (委員会・琵琶湖)	<p>(2001/2/16 中村委員 庶務)</p> <p>事務局として、最終の落としどころをもってやっているのか。2月1日の会議においても、それぞれの委員が好き勝手に、こう綺麗になって欲しいなどといっているが、どういう流れで、どういう風に落ち着いていくのかが見えていなければ、私自身としての役割もわからない。</p> <p>そのため、意見を述べるにしても個人的立場から述べるべきなのか、研究所の研究者たちの意見を集約した方がいいのかも、今のままでは判断できない。本当は、もっと市民の意見をとりこみ、私たちというのは、それをサポートする方がいいのではないかと、とも思う。</p> <p>準備会議時代の議事録についても、私自身、今の段階では必要としない。会の流れがもう少しはっきりとしてきて必要となれば、連絡したい。</p> <p>(2001/2/16 庶務 中村委員)</p> <p>まず、今回、ご意見を頂く欄を設けたのは、一部の委員から、当日、時間がなく言い足りなかったことがあると指摘を受けたことに対応したものです。</p> <p>以下、ご質問に沿って、ご説明します。</p> <p>Q1：事務局として、最終の落としどころをもってやっているのか。 A：この委員会では、落としどころというものが想定されておりません。それは、庶務もそうですし、河川管理者側もそうです。河川管理者の中には、今のような河川法自体を改正すべきだということまで話がふくらんだ方がおもしろいと非公式におっしゃる方さえおられます。</p> <p>また、現段階では、整備計画の原案も作られていないようです。そのような意味で、従来型の会議とはまったく異なった審議スタイルをとっていることになると思います。</p> <p>Q2：2月1日の会議においてもそれぞれの委員が好き勝手な意見をと言っているが、どういう流れで、どういう風に落ち着いていくのかが見えていなければ、私自身としての役割もわからない。 A：2/1の会議の発言は、今、庶務側で整理しておりますが、整理してみますと、会議の進め方、審議の内容、河川管理者の役割など、ある一定の方向が浮き彫りになってきている気がします。一見、無秩序に思える意見も、項目を分けて、整理してみると、一定の方向が出てくるのかなあと思う次第です。その中で、自ずと各委員の役割等も見えてくるのではないかと思います。また、この資料は、いずれお送りすることになると思います。</p> <p>Q3：そのため、意見を述べるにしても、個人的立場から述べるべきなのか、研究所の研究者たちの意見を集約した方が良いのかも、今のままでは判断できない。 A：規約上、あくまでも個人の資格で参加いただいておりますが、個人的立場で意見を述べる際の参考として、研究所の研究者他のご意見を参考にされるのは委員それぞれの判断によると思います。</p> <p>Q4：本当は、もっと市民の意見をとりこみ、私たちというのは、それをサポートする方がいいのではないかと、とも思う。 A：個人的にはおっしゃるとおりだと思いますし、前回の会議でも、住民懇談会等の場を設け、市民から意見を積極的に聞く場を設けるべきとの意見が多数ありましたので、庶務としては、そのような場を設置する作業をすることになるのではないかと予想しています。ただし、これもあくまでも委員会ですら正式に指示を頂いてからの作業となります。</p> <p>Q5：準備会議時代の議事録についても、今の段階では、私自身は必要としない。会の流れがもう少しはっきりとしてきた時に、必要となれば連絡したい。 A：いつでもお送りできる体制をとっていますので、適宜、ご指示下さい。</p>

	委員名	内容
		<p>(2001/2/22 中村委員 庶務)</p> <p>ファックス頂きました。気を遣って頂いて有難うございます。</p> <p>意見提案が出しにくい、と言うのは私がちょっと特殊な立場にあるからということも関係していると思います。琵琶湖研究所は琵琶湖に関する情報を発信する目的の機関ですから、いつかの段階で琵琶湖部会に情報を出すことも求められるのからとは思っています。ただ、最初から専門家として意見や提案を含む形で情報を出すことも適切ではないだろうし、会議の進め方や議論の動向を見たとえ必要に応じて判断した方が会議の運営もしやすいだろうな、という意味です。専門家間の会合と違い、自身で強い思いをもっていても、今まで発言の機会が少なかった市民やN G Oの方々の自由な意見が出やすくする配慮が必要なのかな、どうなのかな、という感じです。「琵琶湖の状況を考えるとこうでなければならないのではないか。」ということも思っていますが当面は差し控えて皆さんの意見を伺うのが良いだろう、ということです。ただ、落としどころが見えないままずっと進むということになれば提供すべき情報もきちっと出さなかったことになるので、これもまずい。</p> <p>個人か研究所かということでは、研究所の場合は多数のプロジェクトから琵琶湖の状況が断片的に分かってくるということであり、事実の積み重ねから徐々に全体像が見えてくるということです。そういう意味では私が意見をもつというより集められたデータから解釈しているということに過ぎません。個人でものを言ってくれというときも、意見と解釈のハザマにある事がらが大半ですので判断が難しいということです。</p> <p>以上、ご要望に答えて意見や提案を出すのが良いとは思いますが、今回はちょっと状況の推移を見てどういう立場で意見や提案ができるのか考えておこう、ということです。ちょっとご期待に添えなくて申し訳ありません。</p> <p>(2001/2/22 庶務 中村委員)</p> <p>F A Xいただきました。 ご丁寧にお返事をいただき恐縮です。</p> <p>電話でのご質問に十分お答えできなかった点もあるようで申しわけありませんでした。そのお答えになるかどうかわかりませんが、F A Xを読ませていただいた感想のようなものをお送りします。また、庶務はあくまでも委員会や部会の指示にもとづいて動くという立場であることもご理解いただければ幸いです。</p> <p>前回の会議で出されたご意見は、第2回委員会で、1つ1つ、その是非や具体策について合意していくべく資料を準備しており、3月上旬には、各委員に資料として発送する予定です。その中で、「この委員会は、行政、学識経験者、住民がパートナーシップを築いていくための貴重な場にしていきたい」とのご意見をいただきました。</p> <p>第2回委員会で、この意見が是とされた場合、その具体的な運営においては、中村委員がF A Xにお書きになっているようなことが様々起こってくると思います。基本的には、委員間で徹底的に議論をしていただく他ないのかもしれませんが、庶務としては、このようなパートナーシップの場を築いていくべく、精一杯、運営の工夫を行い、サポートしていきたいと思っております。ただ、このような会議はこれまでなかったと思っておりますので、様々な試行錯誤が必要かもしれません。</p> <p>また、このような「行政、学識経験者、住民がパートナーシップを築いていくための貴重な場にしていきたい」が成功すれば、モデルケースとして注目されることになり、他の事業にも導入される等の動きにつながるといったことを期待しています。</p>
3	寺川庄蔵(委員会・琵琶湖)	<p>(2001/2/21 寺川委員 庶務)</p> <p>12月19日に河川審議会から出された答申を頂きたい。次回の委員会までに勉強しておきたい。</p> <p>(2001/2/22 庶務 寺川委員)</p> <p>・ 寺川氏から希望のあった「河川審議会から出された答申」について、整備局の細川氏とやりとりを行った後、寺川氏には、ホームページで公開されている河川審議会の答申を送付し、「他に必要な書類がある場合には庶務に要望をお出し下さい」とお願いしました。</p>
4	塚本 明正 (委員会・淀川)	<p>(2001/3/22 塚本委員 庶務)</p> <p>議事録に関するやりとりの中で以下のご指摘を受けた。</p> <p>塚本委員：今回のやりとりのなかでいくつか不手際や情報共有の不備が感じられるので、今後気を付けて欲しい。</p> <p>庶務：ご指摘いただいた問題については改善策を考え改めていきたいと思っております。</p>

2 河川管理者とのやりとり記録 (2001.3.29 17:00現在)

・2 / 1以降の河川管理者との主なやりとりについて日にち順で記述している。この他、委員へ一斉に発送した資料については、基本的に整備局の細川氏と淀川工事事務所の成宮氏へ送付している。

	河川管理者名	内容
1	淀川工事事務所 成宮氏	<p>(2001/2/5 成宮氏 庶務)</p> <p>成宮氏： ・2 / 1会議で委員から出された意見を早急にまとめてほしい ・規約には「NPOの活用」といった記述があるがどのように活用するのか。2 / 1には具体的な議論は出なかったが、次回委員会で話し合うのであれば庶務から関連NPOの名簿など適切な資料を出すよう考えておいてほしい。</p> <p>庶務： ・2 / 1意見については、議事録とりまとめの途中段階となるが、できるだけ早くまとめたいと思っている。</p>
2	整備局 細川氏	<p>(2001/2/6 細川氏 庶務)</p> <p>細川氏： ・2 / 1会議の委員意見とりまとめをできるだけ早くほしい。</p> <p>庶務： ・できるだけ早く途中段階とはなるがとりまとめ結果を作成したいと思っている。</p>
3	淀川工事事務所 成宮氏	<p>(2001/2/9 成宮氏 庶務)</p> <p>成宮氏： 先日、庶務から全委員に発送された資料について、謝金について国の基準を詳しく説明している点、委員の個人名が出て指示内容を掲載している点など文章に不適切な面がある</p> <p>庶務： 庶務は、誰の指示を受けているかをはっきりさせたい、あいまいにするとかえって混乱する場合がある、電話で問合せに答える方式では、情報の公平性が保てない、準備会議でもそうしてきたのでご理解いただきたい。</p>
4	琵琶湖工事事務所 木瀬氏	<p>(2001/2/9)</p> <p>N Lの発送先についてその1</p> <p>木瀬氏： いままで通り県庁、各土木工事事務所へ送ってもらえるのか</p> <p>庶務： 河川管理者関係の配布先はどうか、と言う点については整備局の細川氏に聞いているところなので、それが決まった時点でお知らせします。たぶん、これまでお送りしているところへはMRIから発送することになると思います。</p> <p>N Lの発送先について その2</p> <p>木瀬氏： 先日の委員会のなかでNGO、市民団体にも積極的に情報発信する、という方針が挙げられたが、これについてMRIとして何か動いているのか、こちらでピックアップなどした方がいいのか。こちらの希望としては、びわこ博物館やアクアピアなどの博物館への配布も検討してほしい。</p> <p>庶務： 「積極的な情報発信」の具体化について、先日の委員会では具体的な決定はされていないので、庶務として今すぐどこかへ送付する、という行動はとれない。</p> <p>次の委員会へ提出する資料の一つとして具体的にどの団体へ送るのか、どんな団体があるのかといったことをまとめることは考えている。ただ、次の委員会で何を検討するか、そのためにどんな資料を作成すべきか、をとりまとめているところなので、N Lの配布先はその一部の話であると思っ</p>

5	滋賀県 土木部河港課 加本氏	(2001/2/26 加本氏 庶務) 滋賀県では、平成12年3月、「マザーレイク21計画」を策定した。この計画を策定するための委員会には、淀川水系流域委員会の一部の委員が入っている。 淀川水系流域委員会で琵琶湖についての議論を行う際には、この「マザーレイク21計画」を是非、参考にして頂きたい。 「マザーレイク21計画」の策定に参加して頂いた委員と、参加して頂いていない委員では、情報量の乖離が非常に大きいと思われるので、情報量の乖離是正を行った上で、議論した方がよいと思う。 庶務の三菱総研も「マザーレイク21計画」について勉強しておいて欲しい。
6	河川管理者	(2001/2/27) 庶務 各工事事務所、水資源公団担当者 以前準備会議の際に提出いただいた資料に載っていたNPO等の団体へのニュースレター送付について問い合わせを行った。 その後、文言等についてのやりとり等の後に、各種NPOへ庶務からニュースレターを発送した。
7	整備局 細川氏	(2001/2/27 細川氏 庶務) 各工事事務所と付き合いのあるNGOやNPO等の関係団体にニュースレター送付希望の場合は、庶務にその旨を知らせて欲しいとのファックスを受け取ったが、各工事事務所と付き合いのある団体は、事業推進派が殆どであり、事業反対派ではない。2月1日の会議で村上委員が発言した趣旨とは少し違うと思う。 委員からの直接の指示であれば、ニュースレターの配布先を教えてもよいとは思うのだが、ニュースレターを10,000部印刷して、余部が大分あるので発送するというのであれば、趣旨が違うと思う。
8	淀川工事事務所 成宮氏	(2001/2/28) 成宮氏： ニュースレターを送付する際、工事事務所が紹介した団体等については、当該団体に工事事務所からの紹介でニュースレターを送付した旨を伝えるとしているが、工事事務所からの紹介でニュースレターを送付した旨を記すと、ニュースレターを送付しなかった団体から、「何故、当団体にはニュースレターが来ないのか？なぜ、工事事務所は当団体を紹介してくれなかったのか？」というクレームがくると困る。 また、工事事務所が庶務に指示しているようにも受け取られかねないので困る。ニュースレターを送付する際、工事事務所からの紹介である旨を伝えない方がよいのではないかと。庶務で検討して欲しい。 庶務： ・お送りした書類では「工事事務所からのご紹介」となっているが、「紹介」という文言だと誤解を受けてしまうので、「準備会議の際に工事事務所から出された資料を元に庶務が(庶務の判断で)ニュースレターを送付しました」といった説明文に変えます。 成宮氏： ・それならばかまわない。「紹介」というと工事事務所の意思が働いているように感じられるのでそれはやめて欲しい。準備会議の資料も団体が網羅されている訳ではないので。
9	整備局 細川氏	(2001/3/5 細川氏 庶務) 委員長、各部長との事前打ち合わせの結果をいつもらえるか。明日の午前中には頂きたいのだが。 (2001/3/6 庶務 細川氏) 事前打ち合わせ時の資料および委員長、部長からの意見メモを送付
10	整備局 細川氏	(2001.3.8 庶務 細川氏) 第2回委員会の議事次第(案)及び審議資料(案)、委員意見とりまとめ結果を送付

11	琵琶湖工事 事務所 木瀬 氏	<p>(2001/3/8 木瀬氏 庶務)</p> <p>木瀬氏： 次の委員会について今、どんな具合なのか。 議事内容や資料は決まったのか。</p> <p>庶務： 委員長等と打合せたり、整備局細川氏と打合せたりしながらまとめているところで、来週真ん中くらいには、委員へ議事内容と作成資料の見直しをお知らせしようと思っているので、その位になればそちらにもお知らせできる。</p> <p>木瀬氏： 次の委員会では、今後の進め方についての資料も出るのだろうか。(何回目の部会で現地見学をやる、など)</p> <p>庶務： 庶務として、あまり決めつけての資料は出せないが、なんらかの今後の進め方についての資料は出そうと考えている。それで具体的なことは委員会で議論してもらうつもりである。</p> <p>木瀬氏： 前の会議の話では次の部会は4月中とか言われていたように思うがそうなのか。</p> <p>庶務： 庶務では、今後2年分の委員会および部会の開催日を決めてしまおうと思っている。次回の部会は4月下旬～5月上旬か、と思っている。これから委員の方々に日程をお聞きしていく予定なので、その結果で4月下旬～5月上旬のどこかに決まる。</p>
12	淀川工事事務所 久保田氏	<p>(2001.3.23)</p> <p>久保田氏： 他の委員会とのバッティングを避けるためにも、淀川部会の大まかな開催日程を知らせて欲しい。第1回淀川部会の開催は、委員から返送されてきたスケジュール確認表ではどの日にちが有力でしょうか。</p> <p>庶務： 開催日のイメージ(2001年分)は口上でお知らせし、取りまとめ状況は月曜にお知らせしますと説明。</p> <p>(2001.3.26 庶務 久保田氏) 今のとりまとめ目標では、3/28に日程案が確定する予定なので、それまでお待ち下さい。</p> <p>(2001.3.27 久保田氏 庶務) 淀川には地元の方8000人規模で構成される水防団組織がいくつあり、その方々への説明会がGWあたりに予定されております。流域住民の方への説明であり、かなり大規模なものです。 また出水期間が近づいているため、地元の方々や自治体、消防、警察及び自衛隊との水防演習も、いくつかあります。5/7の週は会計検査院による検査が1週間に渡り入りますので、職員は完全に張り付き状態となります。</p> <p>(2001.3.27 庶務 久保田氏) 部会長のスケジュールの状況から、5/7の週に部会開催の可能性が高いです。取り急ぎ、お知らせしておきます。</p>
13	淀川工事事務所 成宮氏	<p>(2001.3.27 成宮氏 庶務)</p> <p>第2回委員会で、委員の方が資料を持込んで当日、説明することになった場合のことを考え、OHP(液晶プロジェクタに接続して投影できるもの)を手配しておいて欲しい。 今後、委員会が頻繁に開かれるが、河川管理者が作成する資料について、複数の委員会で同じ資料を使用することがあると思うが、その際、委員会毎に再度コピーをする必要があるのか、それとも、資料のリユーズで済ませるのか、委員の方と相談する機会があれば、相談しておいて欲しい。</p>